

エジプト、チュニジアにおける伝統的知識と 環境保全・イノベーション

長らく、貧困や紛争の代名詞として語られてきたアフリカであるが、この10年間で、アフリカは著しい経済成長率を示す大陸としても世界に認知され始めた。さらに、現在10億人の人口は、2050年には20億人を超え、中国やインドを上回ると見られ、アフリカが巨大市場と化する現実が見えてきている。

しかし、その経済成長の一方で、アフリカは全世界49カ国ある後発開発途上国(LDC)のうちの33カ国が集中する地域でもある。世界的な資源価格の高騰、市場経済の加速化、外国投資の急増及び技術移転の加速で急速な経済成長を遂げる一方、深刻化する環境破壊と貧富差の拡大、伝統的価値観の崩壊等、多くの社会的課題が一気に噴出し始めているのがアフリカである。

今回は北アフリカに焦点をあて、エジプト及びチュニジアから第一線で活躍中の専門家を招き、同国で進む伝統的知識を活用したイノベーションと環境保全のあり方、そして、経済発展の新たなモデルについて検討したい。また、インドにおけるアフリカ研究第一人者もお招きし、インドにおけるアフリカ研究についても、ご紹介いただく予定である。

日時 平成28年2月29日(月) 10:00~16:30
場所 関西大学千里山キャンパス 尚文館7階特別会議室
報告 Dr.Reem Raslan

(カイロ大学法学部講師、ニューヨーク州弁護士、エジプト弁護士)

Mr. Haroun Grami

(チュニジア標準化・工業所有権局商標担当官)

Prof.Dr.Ajay Dubey

(ジャワハルラルネルー大学国際学科教授)

※ 講演言語：英語
(通訳あり)

通訳・コメント 山名美加 (アフリカ経済・環境研究班主幹、法学部教授、知的財産法)

聴講無料・事前申込要

参加希望の方は、氏名・所属・連絡先を明記の上、下記のお申込先まで、FAX、Eメールまたはお電話でお申し込み下さい。(定員：先着15名)

【お申込先】

関西大学 研究所事務グループ

〒564-8680 大阪府吹田市山手町3-3-35

TEL 06-6368-1179 / FAX 06-6339-7721

E-Mail keiseiken@ml.kandai.jp

経済・政治研究所ホームページ

<http://www.kansai-u.ac.jp/Keiseiken/index.html>

